

令和3年度第46回冬休み子ども読書感想文と手紙作品コンクール（主催：茨城県読書推進運動協議会、後援：茨城県教育研究会学校図書館研究部、茨城新聞社、茨城県立図書館）の入賞者が決定いたしました。

県内の幼児、小学生、中学生を対象に、それぞれ7点の課題図書感想文と手紙作品を募りました。昨年に引き続きコロナ禍の中での開催となりましたが、180点の応募があり、最終審査の結果、最優秀賞5点をはじめ、優秀賞、優良賞、佳作に多数の作品が入賞しました。入賞者の皆さん、誠におめでとうございます。また、残念ながら入賞されなかった皆さんに対しても、その努力に心からの称賛をお贈りします。

幼児の部、小学校低学年の部、中学年の部、高学年の部、中学校の部の5部門でのそれぞれの作品を読ませていただくと、発達段階の違いはありますが、読書をとおして感じたことや考えたことを、素直な表現でまとめることができていました。読み終えて、とても温かい気持ちになりました。また、登場人物と自分自身とを重ね合わせたり、相手に語りかけたりしながら、自分自身を見つめ直すことができていました。さらに、学年が上がると、より広い視野から自分の考えを深めることができていました。読書をとおして得られた新たな気づきや発見について、自分自身と向き合いながら真剣に文章にまとめた経験は、今後の生活にきっと活かしていけることでしょう。

このコンクールのよさは、幼児から中学生まで幅広く応募できることです。ぜひ多くの皆さんに応募していただきたいです。

審査委員長 茨城県教育研究会学校図書館研究部長
水戸市立赤塚小学校長 橋本 浩志